



オリブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2018年
4月号
2018.4.14発行
第198号

あたらしい
なかまです。

たくさんいらっしゃるので
4ページに続きます。



アーイ (タイ)



オン ヴインシン
(マレーシア)



ゲン ゴック
フック (ベトナム)



ゲン フィン
ドウオック (ベトナム)



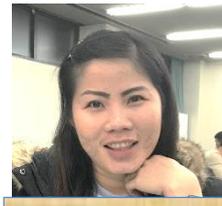
ス カイセン
(中国)



スリスダ タンテージャ
(タイ)



チャン ディンタン
(ベトナム)



ティツバラ
バンウィサー (タイ)



ファム ヴァン
メイン (ベトナム)



ビ ティ フォン
(ベトナム)



ビ ティエム
フォック (ベトナム)



プシ ラハコ
(インドネシア)



ホアン ヴァン
メイン (ベトナム)



ホアン トウアン
(ベトナム)

中川先生のへんてこ日本語

93



いいです

コンビニで買い物し、レジにて「○○カードお持ちですか」と聞かれた。「持っていない」と答えると、「いいですか」と返ってきた。この「いいですか」の意味がよく分からず、思案して一日を過ごした。「いいです」には、「すばらしい、ナイス」を表す場合と、「お取りしましょうか」という提案に対して「いや、いいです」と断る、相反する意味になる場合がある。後者に対しては、最近なら「だいじょうぶです」と断る人も多いだろう。

なぜ私が「いいです」がしっくりこないと感じたのか。「持っていないのなら、ポイントは入らないけれど」とか「このままレジに進んでもいいですか」のような、「カードを持っていないことに対して不利益になる」ことを諭されているような店員さんの高飛車な態度に難癖(なんくせ)を感じたのは私だけだろうか。

五〇一円の買い物をして、一〇〇〇円札を差し出した。店員さんに「いいですか」と言われたら、これは「つり銭が細かくなるという不利益を与えるけれどかまいませんか」の意味であり、「お弁当温めますか(温めましょうか)」に対して「いいです」と言えば、せっかくの提案を断ることになる。やはり「いいです」は曲者(くせもの)である。

コンビニなどでは、留学生がアルバイトをしていることが多くなってきた。プラスにもマイナスにも解釈される表現の使い分けには、十分気をつけたほうが「いい」ようだ。

「持っていない」という返答に対して「失礼いたしました」と返してくれる店員さんもいるが、何が何でも「いいです」「だいじょうぶです」で間に合わせようとするのは、ミスコミュニケーションを招きかねない。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



満開!

晴天に恵まれた お花見

昨年は雨のため中止になったお花見ですが、今年は恵まれました。3/31(土)、この日はまずびったり満開時期と合致しました。さらに晴天に恵まれ暑くも寒くもなく絶好のお花見日和だったのです。



今年は、行先を変え琵琶湖疎水沿いの桜並木を見に行くことにしました。午後1時に草津駅集合、石山駅で京阪電車に乗り換え、三井寺駅で下車。駅のすぐ目の前が琵琶湖疎水の桜並木です。

先生8名、生徒さん8名とけっこう来ていただきました。

私を含めた高齢?の一部先生を除き参加者の平均年齢が若いというのがわかり、天気もいいしちょっと歩くコースにしてみようか、と考えました。

琵琶湖疎水沿い→三井寺外周(中には入らず)→長等神社→長等公園→峠まで登って降りて→浜大津まで。

ここで京阪電車で帰る帰宅組ともう少し散歩したい組とに分かれました。散歩組は浜大津港周辺を散策し、そこからさらに歩いてJR大津駅まで行って帰路につくというコースでした。

生徒さんの何人かに聞くと、この日歩いた付近には初めて来たとのこと、お花見以外でも楽しんでもらったかな、と思います。



草津駅に帰ってきたのは夕方4時半ごろ、いや~けっこう歩いたと思います。参加された皆様、お疲れさまでした。土曜日の夜はぐっすり眠れたのではないのでしょうか。

(豊村信良)



1年間おつかれさまでした

オリーブ

懇親会

4月1日(日)「ごきげんさん」にて

17名参加



例年は総会後におこなう懇親会ですが、今年はゆっくり語り合おうということで、4月1日(日)に実施しました。草津駅前から送迎バスで栗東の「ごきげんさん」というお店へ。途中、川沿いに見える桜並木のきれいなこと! 「ごきげんさん」という楽しい名前から炉端焼きかと思いきや、山あいのしずかな川魚料理のお店でした。テーブルの前には囲炉裏があり、赤こんにゃく、生麩、イワナをあぶっていただきます。美しい八寸料理、山菜の天ぷら、柚子丸ごと投入の雑炊、イチヂクジャムのせアイスクリームまで、おいしくいただきました。



さて、いただきながらのみなさんのひとこと。各自の入会したころのこと、そして近況、日ごろは忙しくてできないお話をゆっくりお聞きすることができました。印象に残ったのは「昔のオリーブはもっと熱かった」ということ。スタッフと学習者の距離も近く、教室が終わってもなかなか帰らず、まちセン前でながながとしゃべり、それからみんな居酒屋へ行くことも。特に「生たまご事件」にはびっくり!(まちセン前で遅くまでしゃべりすぎ、「うるさい!」と向かいのホテルの上層階から生たまごを投げつけられた) その当時に比べれば、平穩な今のオリーブですが、情熱はおとろえていません。「これからもっとこんなことをしていきたい」と積極的な抱負(決意表明?)もありました。誰かを支えるつもりで始めた活動に、気づいたら自分が支えられている、それがボランティアのよさだなと感じました。



串にさされてもピンピン動くイワナ。痛いよね、ごめんね。でも、おいしかったよ。

ところで、教室名はなぜ「オリーブ」なのでしょう?と、恩地さんにお聞きしました。草津市の市の花は「キンモクセイ=fragrant olive」ということで「オリーブ」にしたそうです。聖書のノアの箱舟のお話で、洪水後の世界の水が引いてやっと陸地が現れたことを教えてくれたオリーブの小枝。平和と連帯と再生の象徴です。(創立時は、日本人のポルトガル語教室「ポパイ」もあったそう。)

もうすぐ創立25周年。オリーブはまだまだ成長し続けます。(福井)



これはオリーブ、じゃなくて、満開だったシデコブシの花





先月の活動 (3月)

日本語教室 3/3(M), 10, 17, 24, 31 (5回)
 まちせん周年イベント 3/3 (土)
 (前田 田中 花岡 福井)
 BNNスピーチ大会 3/4 (日)
 (内田幸、後藤、豊村、永井)
 まちセン施設部会 3/16(金) (前田)



今月の活動予定 (4月)

日本語教室 4/7(M), 14, 21 (3回)
 K I F A理事会 4/10 (火) (恩地)
 まちセン全体会 4/20(金) (前田)
 K I F A総会 4/21 (土) (恩地)



●日本語教室の(M)は定例ミーティング ● () 内は参加者または 参加予定者。敬称略



参加人数 (3月)

	3/3	3/10	3/17	3/24	3/31
生徒	44	38	50	38	32
先生	23	23	25	23	24



会員の動き (3月)

〈退会〉 福井 佑輔さん
 富山県に転勤されました。「また滋賀に帰ってきたらぜひオリーブに戻ってきたい」との言葉。待ってますよ〜

〈入会〉 岩城 勘一さん



お知らせ



JLPT 合格しました!

(前号に続いて掲載)

★N2合格 周穎さん

先生たちのおかげ

で、日本語の基礎をしっかりと勉強して、N2に合格しました。今度はN1をもっと努力して合格したいと思います。



滋賀に住んで8年になりますが、外国人の方の多さに驚きました。資格や指導経験はありませんが、少しでも皆さんのお役に立てれば幸いです。

あたらしい なかま

(1 ページに続く)



レー
テイエン
コア
(ミトナム)



崔
紅
(中国)



陳
澤
(中国)



ムハマッド ウルル
アズミ (インドネシア)

(編集後記)

私の友人から手作りの冊子が送られてきました。これで7冊目。今回は「サンゴ礁の国 ニウエ」の旅行記。人口1500人の国らしいです。中年になってから旅の病にとりつかれ、ニウエで73か国目、特にまだ日本で旅行記の出版されていない小さな国の旅行記を書くのが趣味だそうです。

著者のジョージ石井さんとは昨年のフィリピン旅行で知り合いましたが、かわいい挿絵もその時できた友人の作です。薄くて読みやすいのに、物産の比較や歴史、地理、アプローチの仕方など、なかなか要領よくまとまっています。

こんな楽しい本、私だけのものにしておくのはもったいない。よろしかったらお貸しします。しばらく毎週持っていくますから声をかけてください。1時間で読めます。(福井)

